

令和元年度 内閣府 男女共同参画社会に関する世論調査

(調査目的)

男女共同参画社会に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

(調査項目)

- (1) 男女共同参画社会に関する意識について
- (2) 家庭生活等に関する意識について
- (3) 旧姓使用についての意識について
- (4) 女性に対する暴力等に関する意識について
- (5) 男女共同参画社会に関する行政への要望について

(調査対象)

- (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
- (2) 標本数 5,000 人
- (3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法

(調査時期)

令和元年 9 月 5 日～9 月 22 日

(調査方法)

調査員による個別面接聴取法

(回収結果)

- (1) 有効回収数 (率) 2,645 人 (52.9%)
- (2) 調査不能数 (率) 2,355 人 (47.1%)

区分	No	調査項目	市 R4 調査案
男女共同 参画社会 に関する 意識につ いて	1	各分野の男女の地位の平等感 ア 家庭生活における男女の地位の平等感 イ 職場における男女の地位の平等感 ウ 学校教育の場における男女の地位の平等感 エ 政治の場における男女の地位の平等感 オ 法律や制度の上での男女の地位の平等感 カ 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感 キ 自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の地位の平等感	○
	2	社会全体における男女の地位の平等感	○
	3	女性が増える方がよいと思う職業や役職	
	4	女性が職業をもつことに対する意識	
	5	男女共同参画に関する用語の周知度	
家庭生活 等に関する 意識につ いて	6	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識 ア 賛成とする理由 イ 反対とする理由	
	7	男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと	○
	8	家事等に対する具体的評価 ア 育児 イ 介護 ウ 育児・介護以外の家事	
	9	家事等に対する配偶者との役割分担 ア 育児 イ 介護 ウ 育児・介護以外の家事	
	10	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の関わり方 ア 希望優先度 イ 現実（現状）	○
旧姓使用に ついての意 識について	11	旧姓使用の希望 ア 旧姓使用ができることよいもの	
女性に対す る暴力等 に関する意 識につ いて	12	「女性に対する暴力」で最も対策が必要なもの	
	13	性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で知っているもの	○
	14	女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で配慮してほしいこと	△
男女共同 参画社会 に関する 行政への 要望につ いて	15	男女共同参画社会の達成状況	△
	16	男女共同参画社会に関する行政への要望	○
属性	①	性別	○
	②	年齢	○
	③	従業上の地位	
	④	職業	○
	⑤	雇用形態	○
	⑥	婚姻状況	○
	⑦	子どもの有無	○